

I T活用家庭科学学習指導案

作成者 教育センター指導主事

1. 校 種 高等学校

2. 学 年 第2学年

3. 教科等 家庭科・家庭総合

4. 題材名 乳幼児を知ろう

5. 題材の指導計画（総時数10時間）

第一次	事前学習	・・・・・・・・・・・・・・・・	(1時間)	・・・・・・・・	本時
第二次	保育体験実習	・・・・・・・・・・・・・・・・	(2時間)		
第三次	交流・観察記録記入	・・・・・・・・	(1時間)		
第四次	グループ毎の調べ学習，役割分担	・・・・・・・・	(2時間)		
第五次	グループ発表用プレゼンテーション製作	・	(1時間)		
第六次	発表	・・・・・・・・・・・・・・・・	(2時間)		
第七次	事後指導，まとめ	・・・・・・・・・・・・・・・・	(1時間)		

6. 本時の学習

(1) 題 目 事前学習

(2) ねらい

保育園を訪問する体験学習（I T教材）のプレゼンテーションを通して，乳幼児の心身の発達と生活について，関心を持つことができる。 【関心・意欲・態度】

乳幼児期が人間の発達の基礎をつくる最も重要な時期であることを理解することができる。

【知識・理解】

(3) I T教材を使う意図

実際に保育園訪問をしている高校生と園児（乳幼児）の交流を動画で見etみることにより，経験不足による訪問時の不安を解消し，これから知ろうとする乳幼児の年齢段階に応じた発達や生活の理解を助ける。子どもの発達と環境とのかかわりについて認識させ，子どもと適切にかかわることができるようにするには，このあとの保育体験学習において実際に触れ合っって自分の学習課題を探し，その解決に取り組んでいくことで，大きな成果を得られる。その事前学習として関心・意欲を高め，子どもとかかわる必要最低限の知識や態度を身に付けるために使用する。

(4) 使用ソフト RealNetworks 社 RealPlayer, Microsoft 社 PowerPoint2002

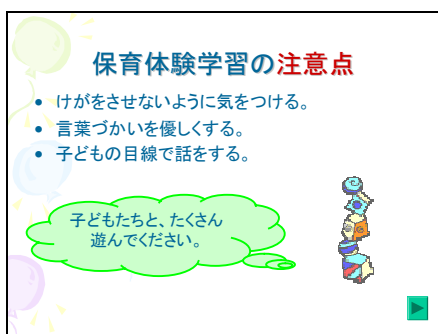
(5) 展 開

欄	学習過程	生徒の学習活動	支 援	評価規準
7分 導入	1 学習の展望	○子ども(乳幼児)の発達と保育を学習する意味を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケートの結果より、学習の関心度を把握しておく ・子どもに対するイメージマップを書かせる 	
40分 展開	2 中学校での学習を復習 3 これからの学習課題の理解 4 学習の見通し 5 保育体験学習の要領	<p>○幼児の心身の発達を知り、自分の成長を振り返ることによって学習してきたことを知る</p> <p>○乳幼児期の重要性を知る ○まず、保育体験学習を通して自分の学習課題を見つけることを知る ○学習課題のより深い理解をするための調べ学習があることを知る</p> <p>○大グループでお互いにわかったことを共有しあい、結果として乳幼児全般についての学習ができることを知る</p> <p>○保育体験学習の要領の目的と要領を知る 目的 (1) 交流 (2) 観察 注意点(1) 安全・衛生 (2) 言葉づかい (3) あいさつ (4) 服装 (5) 目線 要領 (1) 2人一組, 4人1グループ (2) タイムテーブルに従って (3) 体験後, 調べ学習で学習課題を深めたり, 8人で大グループとなり, プレゼンテーションをし合うので, あらかじめ, 見通しを持って行く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校で保育園幼稚園訪問をしたことのある人, またそれ以外に印象に残った幼児の学習について挙手で聞く ・「乳幼児を知ろう」のワークシートを配る ・パワーポイント『乳幼児を知ろう』を使いながら説明する ・具体的に子どものイメージをつかませるために, プレゼンテーションを見せる ・「保育体験学習の要領」のワークシートを配る ・IT教材『保育体験学習の要領』を使いながら説明する ①～⑦ ・短時間でも実際に体験してみることの重要性を説明する 	<p>【知識・理解】 乳幼児期が人間の発達の基礎をつくる最も重要な時期であることを理解している(ワークシートの記入)</p> <p>【関心・意欲・態度】 乳幼児の心身の発達と生活について, 保育園を訪問する体験学習を通して考えようとしている(ワークシートの記入)</p>
3分 まとめ	6 学習のまとめ	<p>○次時の予告を聞く</p> <p>○教師のまとめを聞き, 本時をふり返る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめをする 	

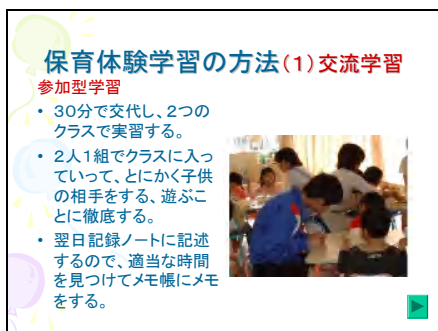
(6) I T教材の説明



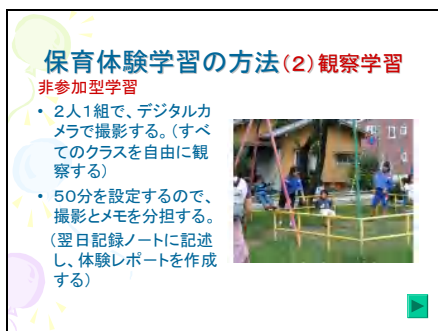
①について▶ 表紙



②について▶ 生徒が保育園訪問し、触れ合うときの注意点。



③について▶ 保育体験学習，短時間の交流で効率よく学習する方法 1つ目(交流学习)の説明。



④について▶ 保育体験学習，短時間の交流で効率よく学習する方法 2つ目(観察学習)の説明。

保育体験学習(〇〇保育園のクラス)

- 5歳児 1クラス → さくら
- 3、4歳児 3クラス → こあら
- きりん
- ぱんだ
- 2歳児 1クラス → つくし2
- 1歳児 1クラス → つくし1
- 0歳児クラス(うさぎ) → は見学のみ

全部で 6クラス

タイムテーブル▶

⑤について ▶▶▶ 保育園にはどんな子どもたちがいるのか、また、生徒は交流時、どのような様子かを動画でみる。

保育体験学習のタイムテーブル

1クラスを10グループ(A1~E2)に分けた場合

	交流学習		観察学習	11:00~		観察学習	交流学習	
	前半 10:00~	後半 10:30~					前半 10:50~	後半 11:20~
A1	つくし1	こあら	すべてのクラスを		A2	すべてのクラスを	さくら	つくし2
B1	つくし2	さくら			B2	自由観察	つくし1	こあら
C1	きりん	つくし1	自由観察		C2	観察	つくし2	さくら
D1	さくら	ぱんだ			D2		こあら	つくし1
E1	ぱんだ	つくし2			E2		きりん	さくら

⑥について ▶▶▶ 交流学習と観察学習を1クラス(40名)が効率よく学習するためのタイムテーブル。
この後の4名グループでの報告会では異年齢の子どもたちとの交流の様子の情報交換ができるように組んである。

保育体験学習の整理

整理のポイント→

- ①運動面
- ②生活面
- ③ことば
- ④情緒面
- ⑤社会性(対人関係)
- ⑥その他

終了 ▶▶▶ 観察学習▶

⑦について ▶▶▶ この体験前には、学習内容として6点のポイントで交流や観察をすること、また、体験後の整理や調べる学習も、この6つの視点で実施する。
このような学習から乳幼児の心身の発達と生活について理解する。